

# 専門医が 診る

読者からの質問編

脚の静脈がこぶのように浮き出る下肢静脈瘤(4日掲載)について読者から寄せられた相談や質問に、下肢静脈瘤専門外来の清水クリニク(広島市南区)の石原浩院長に答えてもらった。

(教蓮孝匡)



回答  
清水クリニク  
石原浩院長

## 下肢静脈瘤

### 再発するたびに手術は必要か どこまで治療 医師と相談を

**Q** 夫は約20年前に両脚の静脈瘤を患って以来、数回の手術を受けてきました。医師からは「今後も別の箇所には次々といえるだろう。何年かおきに手術が必要」と言われています。完治しないのでしょうか。(大竹市・主婦・49歳)

**A** 脚には深部静脈と表在静脈(皮膚に近い部分の静脈)、その二つをつなぐ交通枝という種類の違う静脈があります。静脈瘤になって膨らむのは表在静脈。手術で処置をするのも、この表在静脈です。個人差はありますが、手術時には正常だった別の静脈の弁が数年後に壊れ、新たに静脈瘤になることはあり得るということです。

再発するたびに手術するのも一つの方法ですが、すぐに命に関わる病気ではないことも事実です。どの程度の状態なら生活に支障がないか。そのためはどこまでの治療を受けるのが適当か。医師とよく相談してください。

### 手術受けるタイミングは

### 生活上の不快感基準に

**Q** 数年前から両膝の裏やふくらはぎの静脈が浮き出始めました。痛みはないのですが、こぶが目立ってきたので、適当なときに手術を受けようと思っ

ておくと少しずつ進行します。年齢的に、手術を受ける最も良いタイミングがあれば教えてください。 (廿日市市・主婦・38歳)

**A** 年齢は関係ありません。痛みや見た目で、脚全体の血流として、脚に燃えたりしてはまったく問題ありません。

手術で静脈を抜いても、脚に支障はないですか。また、手術を受けるまでの間、いまいちひどくならないようにする方法はありますか。(広島市中区・パート女性・48歳)

**A** 脚では、皮膚の近くに走るたくさんの細い静脈が、深い部分にある太い静脈に合流し、そこから血液をさらに上部に運びます。静脈瘤になるのは、表在静脈です。そのうちの何本かが使えなくなっても、交通枝が深部静脈に血液を運ぶ

### 症状悪化させない方法は

### 弾性ストッキングが効果的

手術までの間は弾性ストッキングの着用が効果的です。脚の外側から圧力を与え、血行を促します。ストッキングで根治はできませんが、症状の進行を遅らせることはできます。手術後の再発防止にも役立ちます。

### 治療費はいくら

### 片脚当たり約5000円から

**Q** 左脚の膝裏から足首にかけて静脈瘤がありますが、治療を受けたことはありません。ただ、最近はその時々むら返りを起

こすので、手術を考慮しています。費用はいくら負担は3割で出している

ます。レーザー治療は約4万3千円、静脈を抜き取るストリッピング手術は約3万円、接着剤のようものを静脈内に注射する硬化療法は約5千円、静脈の根元

を縛る高位結紮術は約1万円が基本です。ストリッピングとレーザーを組み合わせた治療は約3万3千円です。これらは手術そのものにかかる費用。実際の治療では初診料や再診料、手術前の超音波検査、処方薬などの費用が加わります。

医師に相談し、最適なサイズと強度を選びましょう。